



2009-10年度 国際ロータリーのテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
(ロータリーの未来はあなたの手の中に)

方針

修練

会長 清水 茂彰

■プログラム

世界社会奉仕委員会
「ハイチの国際平和維持活動(PKO)について」

陸上自衛隊第5旅団 旅団長 市田 信行 様



以下のような御講話をいただきました。
「地球の裏側での活動」～ハイチ派遣国際
救援隊～

【説明項目】

- ハイチ派遣国際救援隊 ●なぜ、国際貢献なのか？
- 国際貢献だけでよいのか？ ●第5旅団の将来への対応

1 「ハイチ派遣国際救援隊」

(1)ハイチ共和国

- ・面積：北海道の約1/3
- ・人口：約1000万人
- ・民族：アフリカ系黒人(95%)
- ・言語：フランス語、クレオール語
- ・宗教：キリスト教、ブドゥー教
- ・GDP/人：日本の約50分の1
- ・気候：熱帯雨林、サバンナ
- ・気温：帯広とハイチの差は約45℃(2月)
- ・雨量：雨季が近づいている(4月～10月) ※年に数回のモンスーンあり

(2)地震の概要

- ・断層、直下型、マグニチュード7.0
- ・死者：22万人
- ・負傷者：30万人
- ・被災者：370万人
- ・人口の約半数が被災

(3)わが国の対応

- ・1/12 地震発生
- ・1/23 国緊隊出国
- ・2/5 国活隊を閣議決定
- ・2/6 1次隊編成完結(東京)
- ・2/18 国緊隊帰国 2次隊編成完結(帯広)

(4)国緊隊と国活隊との違い

- ・国緊隊：医療救援などの人道的支援(72時間で到着：死亡率が少なくなる基準)
- ・国活隊：治安の悪い中で、国を復興・国土建設(力のある部隊、装備が必要)

(5)国活隊の1次隊と2次隊(帯広からの派遣隊)の違い

- ・1次隊：宿営地の整備等、2次隊の復興支援基盤の構築
- ・2次隊：フルの編成・装備で復興支援→過酷な環境下

(6)活動状況

- ・宿営地の造成
- ・空港の復旧
- ・建物の復旧
- ・これからは、病院の復旧・難民キャンプ地の造成等が予想される。

(7)国際貢献のオリンピック

- ・各国が支援しているため、交流も盛ん
- ・余暇を利用してのサッカー、地域の子供達との触れ合いなども…

(8)昨年は「ゴラン高原」へも派遣

- ・イスラエル軍とシリア軍の停戦監視等の任務
- ・帯広からの派遣隊は、活動を支える輸送・整備活動を担任

2 「何故、国際貢献なのか？」

(1)世界では、現在15カ所で国連PKOが展開

(2)冷戦期には、5カ所のみ。

東西の陣営が対峙、核戦争にならないよう小さな火種も封じ込み、各陣営ごと取り込み国を支援

(3)なぜ、今、必要なのか？

- ・冷戦期に、封じ込められていた火種の顕在化
- ・技術の進歩で小さな組織等でも、大きな破壊力・影響力がある。
- ・もはや、スーパー大国・一国では対応が困難

(4)その中で、日本の貢献度は？

116カ国の派遣国中、84位

(5)なぜ、日本の貢献度は低いのか？

PKO5原則があります。

- ・停戦合意
- ・紛争当事者の同意
- ・中立的立場を維持
- ・基本方針が変われば撤収可能
- ・武器使用は生命防護に限定
- 5原則を満たす地域からのニーズは限定

3 「国際貢献だけでよいのか？」

(1)防衛力の役割

各種危機感に対応して、軍事大国の侵略に対する備えも必要であり、国際的安定があって、わが国が生きられる。その3つの柱は、

- ・新たな脅威や多様な事態への実効的な対応
- ・本格的な侵略事態への備え
- ・国際的な安全保障環境の改善のための主体的・積極的な取り組み

(2)テポドン脅威、ゲリラコマンドの脅威、9.11のようなテロの脅威の一方で、災害派遣・国際貢献がある。

このような状況の中、第5旅団は、皆様から期待されている全ての事をやろうと考えています。

4 「第5旅団の将来への対応」

第5旅団の3つの役割

- ・道東の安定を図る
- トムラウシ災害派遣・警察と共同しての不審者対処等
- ・国内外を問わず展開

今回のハイチ派遣(350人)等

※ハイチへの派遣が、何故2週間で派遣できたのか？

(2/5：閣議決定～2/18：2次隊編成完結)

*派遣するにあたって実施すべきことは沢山あります。人選、装備品、教育訓練、輸送、予防注射、家族説明…(予防注射は、12本も)

*実は、昨年8月～9月に今派遣にも対応すべく、派遣を想定した訓練をしていました。(宿営、道路整備、水の確保(ろ過)、炊事、野外風呂施設構築、救護等)

・陸自の重戦闘力のモデル

恵まれた演習場・装備をもって、訓練を積み上げることが抑止力

【結言】「準備」していなければ「対応」できない。

これから、我々は広大な道東地区の安定・国内外での展開・北に対する睨み等の「3つの役割」に準備万端を万端を期したいと思いますので、これからも宜しくお願い致します。

■会長報告

清水 茂彰 会長



皆さんこんにちは。昨日米山奨学生のニャムスレンさんの送別会が関係委員会中心に行われました。

たいへん良い子で勉強も人との接触も多くを学んでくれたものと思いますし、カウンセラーの平原先生の指導もよかったものと思っています。

健康診断が本で行われました。年齢的にも色々病気が出てくると思いますが、本日の検査の結果で十分健康管理をしていただければいいと思っております。

又、本日はのちほど市田旅団長よりハイチPKOについてお話をいただきますのでよろしくお願い致します。

先日会計監査の変更ということでお話を致しましたが、退会の挨拶ということで鈴木樹さんからお手紙が参っておりますので読ませていただきたいと思います。

「日々多くの方々より心温まる叱咤激励を賜り感謝の言葉もございません。(中略)33年の長きに渡りたいへんお世話になりました。」鈴木樹さんは多くの貢献をされてきましたし、帯広ロータリークラブの会員増強にも貢献をしたということは誰もが認めるところでもあります。

■会務報告

渡辺 喜代美 幹事

(1)帯広RC、3月31日(水)は休会と致します。

(2)帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日時 平成22年4月12日(月)午後6時30分
場所 北海道ホテル

(3)帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 平成22年4月22日(木)午後6時30分
場所 北海道ホテル

(4)帯広北RC、移動例会開催のご案内

日時 平成22年4月23日(金)午後0時30分
場所 北海道電力(株)

(5)帯広南RC、創立20周年記念祝賀会(夜間例会)開催のご案内

日時 平成22年4月23日(金)午後5時
場所 北海道ホテル

※尚、4月26日(月)の繰上げ例会と致します。

(6)帯広RC、移動例会開催のご案内

日時 平成22年4月28日(水)午後0時30分
場所 帯広動物園



■退会あいさつ

西沢 功晋 会員

4月1日付けで名古屋に転勤することになりました。帯広に3年、帯広ロータリーには半年と短い期間でしたがありがとうございました。

■委員会報告

各委員会

・世界社会奉仕委員会

清田 幸孝 委員長

ハイチ地震義援金49121円でした。ご協力ありがとうございました。

・出席報告

中森 保 副委員長

3月24日例会 会員総数96名(出席免除会員8名)出席56名

3月10日例会 メークアップを含む出席者数及び出席率74名 84.1%

・出席表彰

中田 知徳 委員長



加藤 維利 会員 17年 後藤 健二 会員 8年 道 吉見 会員 2年

・ニコニコ献金

後藤 利之 親睦活動委員

平原 隆 会員

米山奨学生ニャムスレンのカウンセラーを一年間させていただき、無事終了させていただきました。ご協力、ご支援ありがとうございました。

太田 隆博 会員

長女が青森県の松風塾高校に進学が決まりました。ロータリーのクリスマス例会に参加できなくなることを残念がっています。

讃岐 武史 会員

春風を感じる季節となりました。帯広カントリークラブ49年目の営業を来週水曜日4月1日に開始します。今年も数多くの帯広ロータリークラブ会員の入場をお待ちしておりますので、よろしくお願い致します。

西沢 功晋 会員

4月1日付で名古屋の新瑞橋支店に転勤となりました。短い間でしたが、ありがとうございました。

田中 一郎 会員

創立75周年記念例会を立派に無事に終了することができ、例会担当委員長として皆様に心より感謝申し上げます。

野村 文吾 会員

本日職業奉仕委員会担当の健康診断を実施させていただきました。診断結果は4月7日の例会時にBOXに入れさせていただきます。よろしくお願い致します。

進藤 恒彦 会員

健診時に進藤医院をご利用いただきありがとうございます。

清田 幸孝 会員

本日例会を担当させていただきます。

讃岐 武史 会員

本日の例会を担当します。

加藤 維利 会員 出席表彰17年

後藤 健二 会員 出席表彰 8年

道 吉見 会員 出席表彰 2年

■お誕生祝い

橋枝 篤志 会員

■ご結婚祝い

国枝 宏有 会員

■次回プログラム予定

4月7日「ゲスト卓話」講師 秋元 和夫様(プログラム委員会)



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。



例会日/水曜日 12:30~13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報 ●委員長/佐藤 真康・倉野 賢・島田 哲男・進藤 敦史・園尾 真一

竹川 博之・柁安 雅満・蔦井 秀則・中島 一晃・新田 潔

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.co.jp